

令和 6 年 1 月 30 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 許認可関係

沸騰水型原子炉(BWR)で発生した使用済燃料集合体を収納できる新たな型式の金属キャスク及び加圧水型原子炉(PWR)で発生した使用済燃料集合体を収納できる型式の金属キャスクを追加した事業変更許可申請書を令和 5 年 9 月 21 日に原子力規制委員会に提出しました。

これに対し、同年 10 月 16 日及び 11 月 13 日の審査会合並びにヒアリングを踏まえ、同年 12 月 7 日に事業変更許可申請書の一部補正を、原子力規制委員会に提出しました。

主な補正内容は、以下のとおりです。

- ・金属キャスクに収納する使用済燃料の種類や燃焼度、冷却期間等の記載を詳細化
- ・津波により受入れ区域等が損傷し遮蔽機能が喪失した場合に、敷地境界外における公衆実効線量が年間 1mSv(法令の線量限度)を超える恐れがある場合は、受入れ基数を制限する等の運用とする旨記載
- ・その他、記載内容の適正化

その後、令和 6 年 1 月 17 日の第 59 回原子力規制委員会で事業変更許可申請書に関する審査書案について了承され、原子力委員会及び経済産業大臣への意見聴取の実施が決定しました。

2. 東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所の状況を踏まえた対応

令和 5 年 12 月 28 日に東京電力ホールディングス株式会社及び当社は、青森県及びむつ市に対して、「東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所の特定核燃料物質の移動禁止措置が解除されたことを踏まえ、東京電力ホールディングス株式会社から搬出計画が示された段階で、速やかに貯蔵計画についても整合を図ることとし、現在の計画について適宜必要な修正を行う」旨報告しました。なお、東京電力ホールディングス株式会社から「搬出計画については、策定でき次第、遅くとも年度内にはお示しする」旨報告がなされております。

以 上

詳細については、当社ホームページから確認することができます。

(<http://www.rfSCO.co.jp/>)